



# まつざき真琴


## 県議会ニュース

日本共産党

鹿児島県議会ニュース  
2011年10月2日号  
9月議会速報その1

発行／日本共産党鹿児島県議団 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1  
★TEL/FAX 286-3977 E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com ホームページ http://jcp-kagoshima.com  
★ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/

9月議会において、まつざき真琴県議は一般質問にたち、原発問題、水俣病問題、馬毛島問題や安心安全のまちづくりなどについて、県の姿勢をただしました。今回は、原発問題を中心にご報告します。ご意見をお寄せください。



**川内原発 3号機増設の同意は撤回せよ**  
**知事 再稼働を容認**

川内原発の3号機増設への同意を撤回するよう求めましたが、知事は拒否しました。原発の再稼働について「電力の安定的な確保」のため「安全性の確保を前提に、原発の再稼働は進めるべきだ」と述べました。

### 原発の“異質な危険”を問う

まつざき県議は、これまで国と九州電力が振りまいてきた「安全神話」に、県自身も浸ってきた責任を問い、何が起きても放射能の被害を起ささないような安全性の確保が、現在の原発の技術では不可能であることを指摘しました。

### 県民の命と暮らしを守れ

3号機増設に関する県民の意識や周辺自治体の首長の立場は大きく変化し、「3号機増設を凍結せよ」と九州電力に申し入れています。知事は、県民の生命と暮らしを守る立場で、知事の意志として、3号機増設の同意は撤回すべきです。

### “原発マネー”の補助金を受けた法人の理事長

メディポリス医学研究財団が2006年にがん粒子線治療施設を建設する際、県は国の交付金（電源開発促進税などが原資）を財源にした約24億円の補助金を交付。その後、2008年の知事選時に、伊藤知事は同財団理事長から100万円の献金を受けていました。

まつざき県議は、知事が九州電力から演劇の鑑賞券を供与されていた問題にもふれ「政治家は政治とカネ

### 知事への献金問題を追及

の問題に厳しく対峙（たいじ）しなければならない。献金やチケットの供与は立地県の知事として倫理上重大な問題だとは考えないのか」とただしました。

伊藤知事は「理事長は個人的に政治活動を応援してくれただけ。献金も法令にのっとっており何の問題もない」「チケットの供与は企業の文化活動の一環」と開き直りました。

### 子どもたちに、安心・安全なふるさとを

## 原発ゼロをめざして 県民集会に600人

原発ゼロをめざす県民集会が、9月23日、600人が参加して鹿児島市みなと大通り公園で開かれました。

まつざき真琴県議は、川内原発にかかわる県と県議会の状況について発言。これまで、「安全神話」を振りまく国や電力会社と一緒にあって、県民に原発の安全を強調してきた県の実

態について告発しました。そして、「子どもたちに、安心・安全なふるさとを渡していくためにも、3号機増設を中止させ、1・2号機の再稼働を許さないために、共にがんばろう。」と訴え、集会後参加者といっしょに繁華街をパレードしました。

